

令和 4 年9月26日

社会福祉法人あかねの会

支援アドバイザー 吉田由紀子

生きる力を育てるために

障がいのある我が子が親亡き後、どうやって生きていけるのか？障がいのある子供を持たれた親御さんが一番心配されるのは、このことではないでしょうか？

障がいがあっても、本人らしく生きて充実した幸せな人生を歩んでほしいと願っていらっしゃるでしょう。

将来はできるなら就職して、或いは福祉的な援助を受けながら、自分らしく生きてほしいと望んでいらっしゃることでしょう。

あかねの会では何百人という知的障がいのある人たちの人生に寄り添ってきて、親亡き後も障がいのある人たちが地域で生きていくために必要な力は大きく次の三つのことが身につけていることが大切であると思っています。

- ①生活力が身につけている
- ②社会的ルールの中で暮らせる
- ③情緒が安定している

では、そのために目の前にいる我が子に対して、生活力や社会的ルールを身につけさせるには、何を、どうやっていけば良いのか？とあせる思いはありながら日々の生活に追われてしまっていないでしょうか？

又、あれもこれもと欲張ってしまい、中途半端になっていないでしょうか？まずは、今、我が子は何ができて、何ができないのかを明確にして、できていないことの中から当面の課題を絞り、取り組んでいくしかありません。

「障がい重いから、うちの子は入所でないと無理」という親御さんの声もよく聞こえてきます。でも、障がい重くても地域で社会のルールを守って生きていくということができれば、地域で暮らせるということが、障がいのある人達と接してきて分かりました。

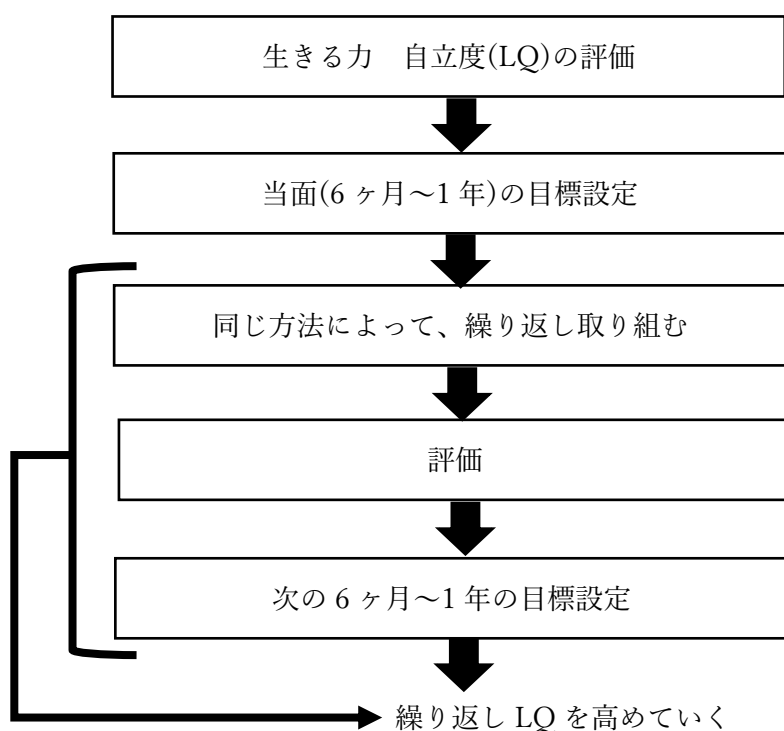
あかねの会の生活介護にK子さんは家庭から通っていました。お母さんと二人暮らしです。愛の手帳2度、区分は6とあかねの会の利用者の人たちの中で、手帳上は一番重度です。入所経験もあり、お母さんもうれ入所を考えておられるのではと思っていました。あかねの会のグループホームは軽度の方を対象に展開してきて、15ヶ寮82人中、愛の手帳2度の方はその時点で2人しかいませんでした。

ところが、ある日突然、お母さんが脳出血で倒れられ、急遽、あかねの会のショートステイでお預かりすることになり、K 子さんの側について入浴支援をしようとした所、洋服を脱ぎながら見事に畳んでいくのです。食後の食器洗いも誰よりも速く綺麗にできます。世話人さんも「K 子さんはこのまま、ここで暮らせます」と言う位でした。他の寮のサテライト希望者のアパートを急遽探して、K 子さんが入居できるよう一室空け、その間ショートで3ヶ月の経験後、空室ができ入寮し、今はグループホームで暮らしています。時間の事、送迎の事、コミュニケーションでは配慮は必要ですが、愛の手帳2度、区分6の人でもあかねの会のグループホームでお預かりできるのだという私たち支援する側の自信と確信になりました。

生活力の有無はK 子さんが示してくれた通り、障がいの軽重ではなく、どう育ててきたのかにかかっているという確信になりました。「家の子は重いから」という言葉^{うち}を言う前に、是非本書を読んで頂き、今からでも一つ一つ目標を決め、生きる力を身につけ、親亡き後も自分らしく生きていけるように育ててみませんか？

「継続は力なり」の言葉通り、積み上げていくことで必ず「量は質を変えます」。医者から事故で脊髄骨折によって二度と歩けないと言われた人が、自分自身と家族の支えによるリハビリで歩けるようになったという話があります。奇跡は医療ではなく、当事者と家族の努力で起こせるのです。

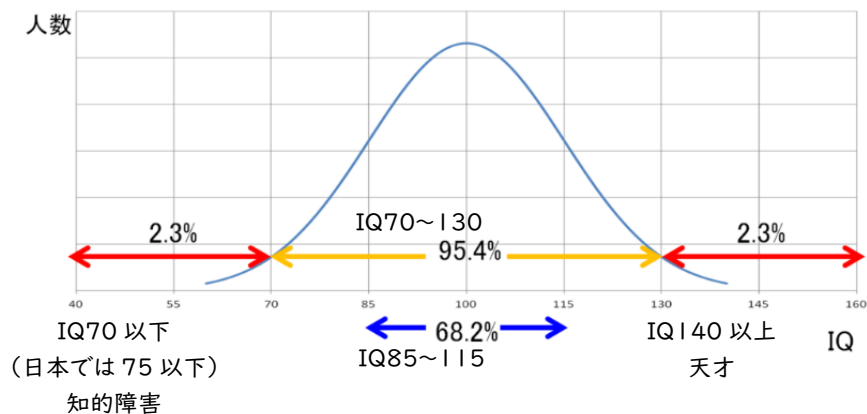
知的障がいのある人たちも、必ず、関わり方によって社会に役に立つ人になれます。誰かのために何かの役に立つ人に育つよう、信じ続けて取り組んで頂けたらと思います。あかねの会はそのことを支援し続けていきたいと思っています。



第1章 生きる力の評価

(1) 生きる力とは

知能指数 IQ は、知能検査で算出される「生活年齢と精神年齢の比」で出され、平均が 100 です。IQ は Intelligence Quotient (知能指数) で表されます。数字が大きい程知能が高く、数字が少ない程知能が低いと評価されます。



IQ75 以下の人たちを日本では愛の手帳(1 度~4 度)の交付対象として、福祉的な配慮が受けられるようになっています。でも、私たちが支援している愛の手帳を保持している人たちの中で、障害が軽いとされている 4 度の人で、靴のひもが結べなかったり、ほうきとちりとりでゴミを集めることができなかったり、洗濯物をきちんと干せなかったり、たためなかったり…ということを目にします。かたや 2 度の重度で会話も成立しないのに、洗濯物をきちんとたたみ、ほうきで上手に掃除ができる人もいます。障がいが軽いから企業就労ができる訳ではありません。障がいが重い 2 度の人でも作業をきちんとこなせると企業就労に結びつき、社会の中で暮らしていけるようになります。

実際に生活していく上で、どんな力を育てておけば良いのか? 個々の障がいに応じて支援を工夫して、どうやって「生きる力」を身につけていけば良いのか? 現場での大きな課題だと思います。

IQ ではなく、この生きる力 LQ (life Quotient) が高いことの方が、人生を豊かに送っていくためには必要だということが、いろいろな人の生き方から当然のこととして見えてきます。勉強だけできても会社の中で人間関係がうまく結ばず引きこもりになってしまう人もいます。勉強はできなくても自分の得意なことで会社の中で役に立ち、本人もやり甲斐を感じ、周りからも必要とされて生き活きと生きている人もいます。

自立度 (LQ) > 知能 (IQ)

勿論、どの力も高いことに越したことはありませんが、大勢の人の生き様を見ていると、この「自立度 (LQ)」を高めておくことが人として幸せに生きていく上で、必要だと強く感じます。

(2) 自立度の評価項目

では、生活上、予測される生きる力とは?という観点で必要な力を洗い出してみました。

基礎体力から始まり、身辺自立、健康管理、衣服の選択・管理、食物の管理と適切な摂取、時間の管理、手指機能の基本動作、住居の管理、経済的自立と管理、余暇の楽しみ方、公共機関の利用、社会性、自立する意識、言語力(コミュニケーション力)、基礎学力等と非常に多くの要素があります。

一度しかない人生、自分の住んでいる社会の中で、充実して過ごしていくためには、IQが高いよりも、この生きる力 LQ を高めておく必要があります。

広範囲に及んでいるので、どこからどう手をつけていけば良いのか?迷ってしまうことも多いでしょう。そのためにも定期的に生きる力のチェックをして、今年はこの課題に取り組んでいこう、この課題はもう少し、時期をずらして取り組もう等、計画的に課題の必要性や緊急度を整理していくことも必要です。

そのために本書では 12 ページ(6)評価方法の流れの手順に従って定期的に生きる力の評価を行い、目標をその都度更新して、生きる力を高めていけるように活用できる構成にしました。

【自立度評価項目】

I 基礎体力

- | | |
|---------|-------------------------|
| ①起き上がり | 自力で寝た姿勢から起き上がる |
| ②体幹保持 | 背にもたれず、椅子に半日程度座れる |
| ③座位保持 | 自力で座位を保つ |
| ④握る | 箸や鉛筆をしっかり握って操作する 食器を持つ |
| ⑤腕力 | 数 kg の物を持ち、歩ける |
| ⑥投力 | 数 m、物を投げる |
| ⑦体を支える力 | 自分のからだを両手で支える |
| ⑧階段昇降 | 手すりにつかまらず、階段ののぼりおりができる |
| ⑨走る | 必要に応じて走る |
| ⑩つま先立ち | 背伸びができる |
| ⑪またぐ | 50cm 程度の高さをまたげる |
| ⑫歩行力 | 1km を 15 分程度の速さで半日程度歩ける |
| ⑬立つ力 | 半日程度立っていられる |
| ⑭平衡感覚 | まっすぐ歩く |
| ⑮跳躍力 | 50cm 程度の高さから飛び降りる |
| ⑯バランス感覚 | 自転車に乗れる |

2生活

- | | |
|------|--|
| ①起床 | 目覚ましを使って一人で起きる |
| ②手洗い | 手指をきちんと洗える |
| ③洗面 | 石鹸を使い、きちんと洗面する |
| ④歯磨き | 食後3分間、1日3回の歯磨きができる |
| ⑤着脱 | どんな形式の服でも袖脱ぎができる
どんな形式の服でも手早く着ることができる |
| ⑥入浴 | 体をきちんと洗って入浴できる |
| ⑦排泄 | 定時排泄と始末がきちんとできる |

3健康

- | | |
|----------|--|
| ①健康管理 | 体温を測り健康管理帳をきちんとつけられる |
| ②けがの処置 | 簡単なけがなら、自分で処置できる |
| ③病気の対応 | 簡単な病気の対応ができる |
| ④爪の管理 | 爪が伸びすぎないように自分で切れる |
| ⑤髪の手入れ | 髪の手入れを清潔に保つよう洗髪できる |
| ⑥理美容院の利用 | いつ、理美容院に行けば良いか分かる
どの位、カットすればいいか分かる |
| ⑦薬の管理 | 常備薬を自分で管理し、飲める |
| ⑧通院 | いきつけの病院ならひとりで行ける
診察料を判断し、新患として受診できる |

4衣服

- | | |
|-----------|--|
| ①手洗い | 手洗いできれいに洗濯できる |
| ②洗濯機 | 洗濯機に入れ、適切なボタンを押す事ができる |
| ③干し | きちんと広げて干せる |
| ④たたみ | 洗濯ものを畳むことができる |
| ⑤収納 | 所定の場所に収納できる |
| ⑥季節ごとの管理 | 季節の変わり目にクリーニングに出せる |
| ⑦用途に応じた選択 | 季節や素材を考えて、洋服を選べる |
| ⑧処分と購入 | 着られなくなった服を処分することができる
季節や素材、金額を考えて、洋服を購入できる |
| ⑨雨具の管理 | 傘をまとめてとめ、傘立てに入れられる
折りたたみ傘を畳んで収納できる
レインコートの干し方・たたみ方ができる |
| ⑩靴の管理 | 靴箱に入れる。汚れを拭いて落とせる |
| ⑪カバン類の管理 | 中身を時々見て、必要なものをいれておける |

5 食物

- | | |
|------------|----------------------------|
| ①食器洗い | 食器洗いができる |
| ②食事の準備、片付け | 方向を考えて箸を並べる、ご飯が左、みそ汁が右がわかる |
| ③食器用具洗い | 鍋、フライパンが洗える |
| ④ご飯を炊く | 米とぎができる |
| ⑤調理 | 何か一品作れる |
| ⑥調理 | 主菜、副菜、お弁当が作れる |
| ⑦調理 | レシピを見て作れる |
| ⑧三大栄養素 | 大体の栄養素が分かり、食物を選べる |
| ⑨栄養バランス | 栄養を考えた献立が立てられる、購入できる |
| ⑩食品の保存 | 賞味・消費期限がわかり、冷蔵庫に入れるべき物がわかる |

6 時間

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| ①時計の利用 | どんな時間でも正確に読める、何分前かも分かる |
| ②時間の計算 | 時間の計算ができる |
| ③時間の使い方 | 時間を二重に使うことができる
時間を考えて見通しをもって行動できる |
| ④時間の感覚 | 1秒、1分がどの位か、時計がなくても分かる |
| ⑤時に関する言葉 | 時に関する言葉を知って行動できる |

7 基本動作

- | | |
|--------------|--------------------|
| ①線を引く | 定規を使って正確に線が引ける |
| ②輪ゴム | 輪ゴムを利用できる |
| ③セロテープ | セロテープを適切に利用出来る |
| ④折る | 紙をきちんと角を合わせて折れる |
| ⑤折り紙 | 紙飛行機や折り紙で鶴が折れる |
| ⑥はさみで切る | はさみで、どんな線でもきちんと切れる |
| ⑦はさみ以外の方法で切る | はさみを使わなくても、紙を切れる |
| ⑧ちょうちょ結び | かた結び、ちょうちょ結びができる |

8 住居

- | | |
|------|--------------|
| ①ほうき | ほうきをきちんと使える |
| ②掃除機 | 掃除機を適切に使える |
| ③雑巾 | 雑巾がけがきちんとできる |
| ④トイレ | トイレの掃除ができる |
| ⑤流し | 流しの掃除ができる |
| ⑥ガス台 | ガス台の掃除ができる |

- | | |
|---------|------------------------------------|
| ⑦風呂 | お風呂の掃除が出来る |
| ⑧ごみの分類 | ごみの分類をし、ゴミ出しの日が分かる |
| ⑨部屋の片づけ | 部屋をいつも片づけられていられる |
| ⑩公共料金 | 公共料金を把握し、払える。
節電と水道の節約を考えて行動できる |

9経済

- | | |
|-----------|--------------------|
| ①お金が分かる | どんな組み合わせのお金でも分かる |
| ②買い物 | 個人商店、スーパーでも買い物ができる |
| ③お金の管理 | 必要な物だけ購入し、無駄遣いしない |
| ④給料の管理 | 給料を自分で管理できる |
| ⑤貯金の意識 | 将来を考えて、貯金ができる |
| ⑥銀行郵便局の利用 | 銀行や郵便局でお金の出し入れができる |

10余暇利用

- | | |
|---------|--------------------|
| ①趣味 | 好きなことをしていると一人で過ごせる |
| ②外出 | 一人で出かけられる所が何か所がある |
| ③計画を立てる | 自分で行きたい所を決め、計画をたてる |
| ④サークル活動 | サークルに誘われて、仲間と楽しめる |

11公共機関の利用

- | | |
|----------|--------------------|
| ①図書館 | 図書館を利用し、本やCDを借りられる |
| ②プール・体育館 | 公的なプールや体育館を利用できる |
| ③交通機関 | いろいろな交通機関を利用できる |
| ④郵便局 | 郵便局で郵送などができる |
| ⑤区役所・出張所 | 区役所などで住民票などが取れる |
| ⑥福祉事務所 | 福祉事務所を必要に応じて利用できる |

12社会性

- | | |
|----------------|------------------------|
| ①自他の区別 | 自他の区別が付き、他の人の物を勝手に使わない |
| ②変化に気づき、周りに関わる | 自分のまわりの変化に気づく |
| ③模倣力 | 見本を見て、真似して作業ができる |
| ④社会的ルール | 社会的ルールを理解し、守ることができる |
| ⑤指示通りに動く | 指示通りに仕事をし、作業に集中・継続できる |
| ⑥表情の意味 | 相手の表情の意味が理解できる |
| ⑦他人の喜び | 他人の喜びが、自分の喜びになる |
| ⑧気遣い、思いやり | 相手の気持ちを考えて行動できる |

⑨相 談 困った時に誰かに相談できる

13意識を育てる

- | | |
|-------|--|
| ①自己決定 | 生活面の事は自分でできる
大抵の事は、自己決定できる |
| ②手伝い | お手伝いを、責任もってこなせる |
| ③働く | 大人になったら働きたいと思っている |
| ④感謝 | 家族に感謝の気持ちを持てる
他人にも感謝の気持ちを持てる |
| ⑤謝罪 | 間違ったときに謝れる |
| ⑥自己理解 | 自分の苦手なことを知っている
自分の得意なことを知っている
自分の障がいについて知っている
愛の手帳や無料パスの使い方を知っている |
| ⑦社会貢献 | 誰かのために何かをしようとする |

14言語

- | | |
|----------|--------------------------|
| ①言葉の理解力 | 指示されたことが理解できる |
| ②表現力 | 自分の要求、気持ちを正しい発音で的確に伝えられる |
| ③質問に答える力 | 質問に的確に答えられる |
| ④伝達力 | いつ、どこで、だれが、どうしたを明確に伝えられる |
| ⑤電話 | 電話をうけたり、かけたりして受け答えができる |
| ⑥携帯・メール | メールを打ったり、受けたりできる |

15 基礎学力

- | | |
|-----------|--|
| ①読む | 表示の理解、簡単な文の理解ができる |
| ②書く | 自分の名前、住所、いつ、どこで誰が何をした程度を文章で書ける |
| ③計算 | 簡単なお金や時間の計算ができる |
| ④単位の理解・長さ | mm、cm、m の単位が分かり自分の身長が言える |
| 重さ | g、kg の単位が分かり自分の体重が言える |
| 温度 | 度、分の単位が分かり、体温計・温度計がよめる |
| 量 | cc、ℓの単位が分かり、ペットボトルの量が分かる |
| 広さ | m ² 、畳などの単位が分かり部屋の広さの見当がつく |
| 距離 | m、km の単位が分かり、おおよその距離の見当がつく |
| 速さ | 時速の見当がおおよそつく。1km を 15 分程度で歩く
ことが分かる |

(3)自立度評価方法

我が子の今の課題は何か？これからどんな力を育てていかなければならないか？を明確にするのが、自立度評価です。この評価表で、A・B・Cの評価をまずつけてみて下さい。どの項目ができているか？まだまだ育てなければならぬことは何か？がはっきり見えてきます。

- A 自分で完全にできる
- B ちょっと援助があればできる
- C ほとんどできない

BとCがついた項目をどうやって身に付けていけば良いのか？その指導方法を評価項目に沿って、実例を紹介しながらまとめました。

B・Cの項目のうち、全部一度に取り組むのは無理ですから、今年はこれに取り組んでみようという計画を立てましょう。CをせめてBにしようとか、これだけはAにしよう等、目標を立てて、どういう風にしていくか計画を立てましょう。

どうやったら、しっかり本人の生きる力として身に付いていくか？教え方の工夫により大きな成果が得られます。各項目の指導手順や工夫をしっかり読んで頂き、障がい特性によっても教え方が変わるので参考にして下さい。

この評価にとって大事なことは複数の目で確かめる、ということです。本人をよく知っている人ということで、親や支援員がその人の主観でつけてしまわずに、場面・環境が変わったら「できない」「できる」が異なってくることもよくありますので、少しでも接触のある職員や家族にも様子を聞き取ることも必要です。

大項目で、どの部分が比較的よく身についていて、どの項目が苦手なのか、大雑把に把握することができます。1基礎体力から、6時間まで位の項目は、18歳位までに身につけておきたい項目です。7基本動作から以降は社会に出て就職したり、グループホームで親から自立して生きていく頃には身につけておきたい力です。長い人生に寄り添って、今は何が課題なのかを把握して、あせらず、今何をすべきか？をわかって支援していきましょう。

(4) 評価集計

A 一人でできる B 指導が必要 C できない

氏名 _____ 昭和・平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 _____ 才 _____ ヶ月

評価者 _____

本人との関係 _____

	項目	A の数	%(LQ)	評価・分析
1	基礎体力	16		
2	生活	7		
3	健康	8		
4	衣服	11		
5	食物	10		
6	時間	5		
7	基本動作	8		
8	住居	10		
9	経済	6		
10	余暇利用	4		
11	公共機関	6		
12	社会性	9		
13	意識	7		
14	言語	6		
15	基礎学力	4		
合計		117	100	

(5) 今後の課題設定

評価でBと評価された項目の中で、今後半年から1年間の生活環境、状況、本人の発達段階を
考えて、どの項目を取り上げていくかを決め、課題設定します。

その項目に対して「誰が」「いつ」「どこで」「どう取り組むか」を、具体的に対策を立てて支援
を進めていきます。

各事業所で取り組んでいる個別支援計画の参考にも活用していただけます。

「何から手をつけていけば良いかわからない」という声をよく聞きます。

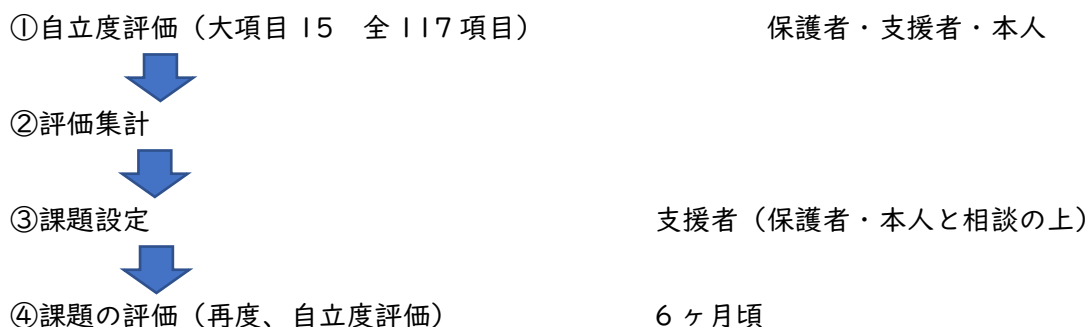
家庭では我が子、事業所では利用者にとって何が今必要か？をしっかりと考えて取り組んでいきま
しょう。

そして半年、1年経った頃、また卒業、就職、グループホームの入寮等の人生の節目に、全体
像を把握して、改めて「今の課題」を明確にし、具体的計画を立てて取り組んでいきましょう。

具体例

項目	
小項目	
誰が	
いつ	
どこで	
どう取り組むか	

(6) 評価方法の流れ



以下、②～④を繰り返す。

第4章 「自立度(LQ)」の評価具体例

あかねの会のグループホームで暮らし、「働く」ことを目指して取り組んでいる人達の中から、この評価表を使って、評価してみた具体例を参考のために掲載します。

Aさんは18歳でグループホームに入所し、サテライトを経て、今一人暮らしを始め、就労もほぼ安定していけそうな例です。

Bさんも21歳でグループホームに入所し、就労も安定してきて一人暮らしをそろそろ考えている段階です。

得意、不得意な所は当然、異なりますが、二人共自立度が80%を超えています。この事例から見て、個性や経験の有無で評価プロフィールの形は多少異なりますが、80%を超えていれば、ほぼ自立していけるのでは？という線が見えてきます。

Cさんも愛の手帳4度で知的には軽度ですが、社会的規範を守ることが難しい、依存度が強く、言われてからやるという状態で、自立が計られていません。

具体的課題がこの評価表から明確になったので、具体的目標を立て、取り組んでいくことができます。

これらの具体例から、能力が高くても生活面での自立度が高くても、社会的ルールを守るという社会性が育っていなければ、地域社会で生きていくことは難しいということです。最初に記した

- ①生活力が身についている
- ②社会的ルールの中で暮らせる
- ③情緒が安定している

この力をしっかり家庭で育てておく覚悟が必要です。でも様々な要因により家庭で育つことができなかった事例を次に挙げています。その子を取り囲む地域社会の連携も大切にしていかなければならないと思います。

(1)Aさんの例

①Aさんのプロフィール

母親の養育放棄により、6歳より児童養護施設入所 10歳で愛の手帳4度取得

小学校・中学校 特別支援学級

養護学校高等部卒業後 レストラン就職 グループホーム入所 サテライトを経て一人暮らし開始

現在 特別養護老人ホームに勤務 38歳

②評価集計表

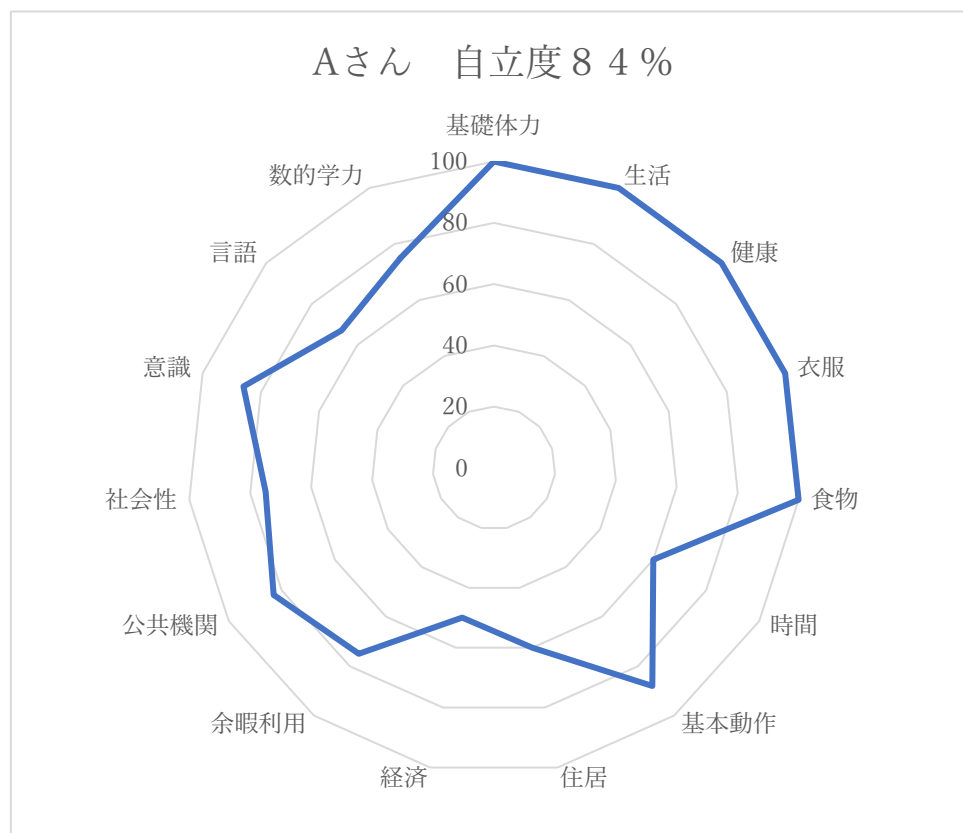
A 一人でできる B 指導が必要 C できない

氏名 昭和58年 7月 20日生 38才 ヶ月

評価者 本人との関係

	項目	Aの数	%(LQ)	評価・分析
1	基礎体力	16/16	100	箸の持ち方が完璧ではない
2	生活	7/7	100	グループホームで世話人さんに促されて、徐々にできるようになった
3	健康	8/8	100	
4	衣服	11/11	100	
5	食物	10/10	100	グループホームの生活を15年程経験してから一人暮らし(サテライト)で自炊、弁当作りができるようになった。
6	時間	3/5	60	1分、10分の感覚が正確ではない。会社に早く行き過ぎたり、遅刻したりする。
7	基本動作	7/8	88	鶴の折り方を忘れている
8	住居	6/10	60	促されればできる
9	経済	3/6	50	無駄使いをした経験あり。見守りが必要
10	余暇利用	3/4	75	自分で計画を立てるところまでは難しい
11	公共機関	5/6	83	申請書記入は手伝いが必要
12	社会性	6/9	75	自分の感情が優先しがち。関係性をつけるのに時間がかかる。
13	意識	6/7	86	自己理解が未熟
14	言語	4/6	67	語彙の乏しさのために的確に伝わらない
15	基礎学力	3/4	75	長さの単位等未習得
合計		98/117	84/100	

③評価プロフィール表



特徴（長所・短所・未経験・未獲得）

まだまだ、凹凸のあるプロフィールであるが、生活経験から「生活」「健康」「衣服」「食物」の自立度は高い。

「経済」「言語」「時間」は知的能力から見て、時間をかけて見守っていく必要がある。

「基本動作」「余暇利用」「社会性」「意識」について、具体的目標を立て、経験を重ね習得していく必要がある。

しかし、このレベルなら多少の見守りを受けながら、一人暮らしが可能であるという具体例である。

(2)B さんの例

①B さんのプロフィール

小3で母を亡くし、親戚の家に預けられるがその後、不登校 17歳で愛の手帳4度取得
 18歳で就労移行支援事業所に入所
 21歳で保険会社障がい者雇用 グループホーム入所
 5年で前職を辞め、再就職 31歳

②評価集計表

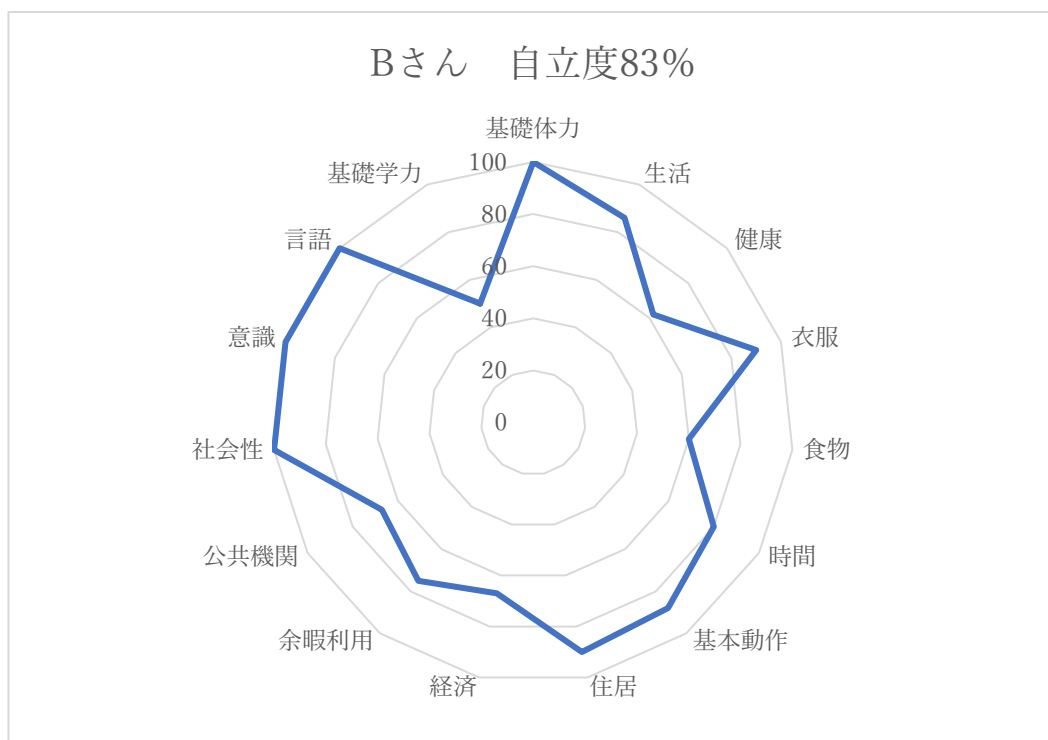
A 一人でできる B 指導が必要 C できない

氏名 平成3年 4月 12日生 31才 ヶ月

評価者 本人との関係

	項目	Aの数	%(LQ)	評価・分析
1	基礎体力	16 16	100	
2	生活	6 7	86	促されないとやらない
3	健康	5 8	62	未経験なことが多い
4	衣服	10 11	90	カバンの中の整理ができない
5	食物	6 10	60	グループホームのため自炊経験なし
6	時間	4 5	80	「あさって」「一昨日」の概念が入っていない
7	基本動作	7 8	88	鶴の折り方を忘れている
8	住居	9 10	90	促されて片付ける
9	経済	4 6	67	叔父さんが管理している
10	余暇利用	3 4	75	友達がいない
11	公共機関	4 6	67	未経験
12	社会性	8 9	100	
13	意識	7 7	100	
14	言語	6 6	100	
15	基礎学力	2 4	50	住所が書けない 長さ、量の単位がわからない
合計		97 117	83 100	

③評価プロフィール表



特徴（長所・短所・未経験・未獲得）

未経験から獲得できていない項目について、具体的目標を立て、自立度を上げていく必要がある。「社会性」「意識」「言語」が障がいの程度が軽く自立度も高いのにも関わらず、「基礎学力」の低さと「健康」「公共機関」など未経験のため獲得されていないことが多い。

現在グループホームで暮らしているが、サテライトなどの経験を通して自立度を上げていく必要がある。

基礎学力に関しては個別に丁寧なプログラムで取り組む必要がある。

(2)Cさんの例

①Cさんのプロフィール

小学校は通常学級 13歳で愛の手帳4度取得

特別支援学校高等部を経て、社会的規範を守れないため入所施設へ

入所施設を出て、グループホームに入所し、就労継続支援B型事業所へ通所

一旦、就労するが1年も経たず、就労移行支援事業所へ通所。再度、就労するが社会的規範を守れず解雇。グループホーム入所中に二度、入所施設に短期入所するが社会的規範を守る力がつかない。グループホームから夜、抜け出して繁華街を放浪。その都度、警察に保護されることを繰り返している。

②評価集計表

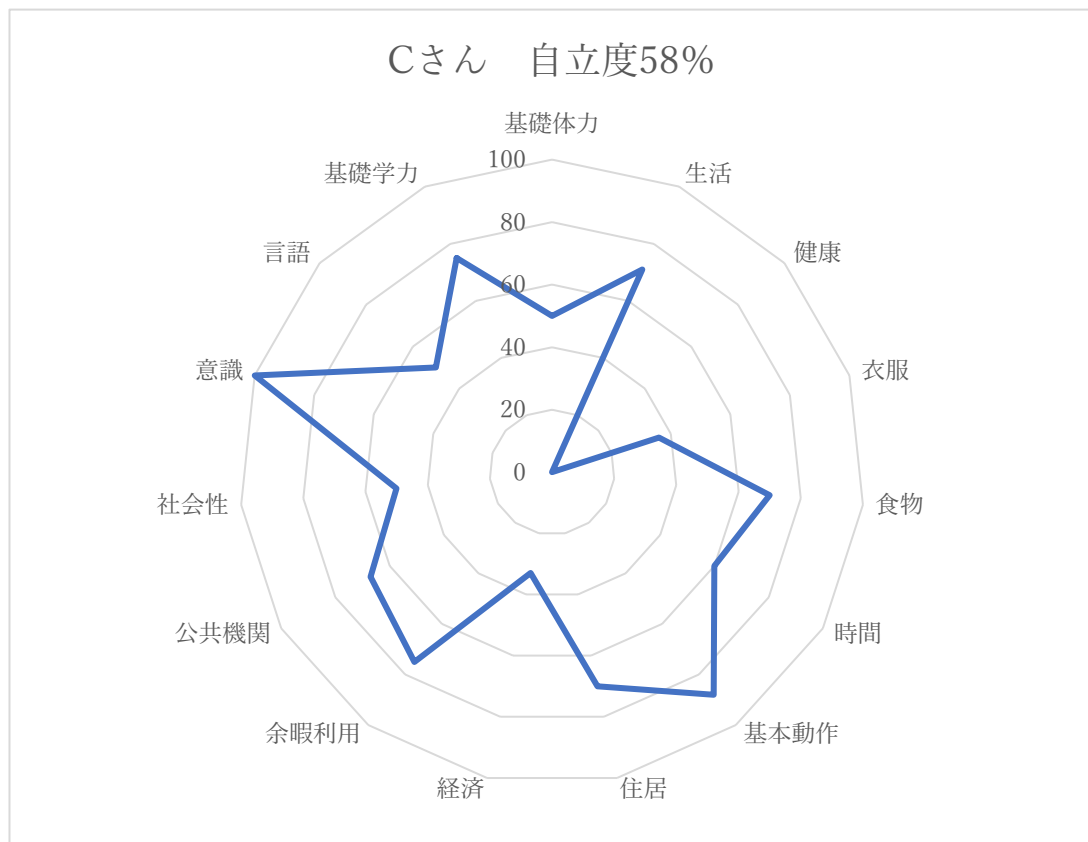
A 一人でできる B 指導が必要 C できない

氏名 平成2年 4月 26日生 32才 ヶ月

評価者 本人との関係

	項目	Aの数	%(LQ)	評価・分析
1	基礎体力	8 / 16	50	平衡感覚が弱い
2	生活	5 / 7	71	手洗い、入浴不完全
3	健康	0 / 8	0	全て言われないとできない
4	衣服	4 / 11	36	教えられながらやっている段階
5	食物	7 / 10	70	未経験なことが多い
6	時間	3 / 5	60	1分がわからない
7	基本動作	7 / 8	88	折り紙ができない
8	住居	7 / 10	70	未経験
9	経済	2 / 6	33	未経験
10	余暇利用	3 / 4	75	計画を立てられない
11	公共機関	4 / 6	67	未経験
12	社会性	4 / 9	50	社会的ルールを守ることができない
13	意識	7 / 7	100	意識は高い
14	言語	3 / 6	50	携帯電話は未経験
15	基礎学力	3 / 4	75	数的単位がわからない
合計		67 / 117	58 / 100	

③評価プロフィール表



特徴（長所・短所・未経験・未獲得）

愛の手帳4度であるが、全体的な凹凸が大きく、前2人に比較して、一般就労も何回か経験したが、継続できない。全般的に依存度が高く、自分でやろうという気持ちが育っていない。

スモールステップで目標を立て、健康面は自力でできる習慣性を身につけるよう、取り組む必要がある。社会的問題を起こしてしまうため、未経験なことが多い。知的には高いため、意識は高いが社会的ルールを守ることができないので、社会の中で暮らすのは難しい状況である。

「他人の喜びが自分の喜びになる」「気遣いと思いやり」という心を育てるために、親子関係の改善から取り組む必要がある。